



静岡市 いきもの 散策マップ

谷津山コース

とり・どうぶつ

● メジロ



ウグイスに似ていますが、背側は全体的に緑黄色で、目のまわりが白いのが特徴です。人家の庭先でも見られます。

● シジュウカラ



スズメくらいの人ささて、「ツイピーツピー」と鳴きます。山地から、人家のまわりでも見られます。

● ホオジロ



スズメより大きな鳥で、オスは木の上で「チュウ・チュウ・チュウ」と鳴きます。耕作地などでも見られます。

● ウグイス



よく知られた鳴き声は「ホーホケキョ」ですが、冬には「チャッチャツ」と鳴きます。ヤブの中において姿を見るのは難しいです。

● キセキレイ



スズメより大きく、ほっそりして、胸からおへそまでが黄色い鳥です。主に水辺にすみ、昆虫をつかまえて食べます。

● ヤマガラ



スズメくらいの大きさと、「ツツピーツツピー」と鳴きます。公園などでも見られます。学習能力がとても高いです。

● ヒヨドリ



ハトより小さな鳥で、林や山間部、民家の庭で普通に見ることが出来ます。木の果、果物を好んで食べます。

● ムクドリ



スズメより大きな鳥です。「ケルケル」と騒がしく鳴き、街路樹をのびるため、人に嫌われることがあります。

● ジョウビタキ



スズメより少し小さく、秋に日本へ来てくる渡り鳥です。山地から住宅地で見られ、ヒッヒツと鳴きます。

● コゲラ



スズメくらいの人ささて、「チー・チー」となるキツツキの仲間です。公園などの身近な場所でも見られます。

● ニホンアナグマ



すんぐりとした体型のイタチの仲間、昼間活動することもあります。雑食で、昆虫、スズメなど何でも食べます。

● タヌキ



中型の哺乳類で、足が短く、すんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

● カワラヒワ



スズメくらいの人ささて、秋と冬に黄色の葉がみられる小鳥です。雑木林などで見られます。

● キジバト



「デッポー」と鳴き、くびに青色のおびた灰色の模様があるハトです。山地だけでなく、平地や市街地でも見られます。

● キビタキ



スズメより少し小さな鳥で、山地や里山の林にすんでいます。オスは喉が橙色で、胸からお腹までが黄色です。

● ハクビシン



外来種で近年数が拡大分布を広げています。最初が白く、のち白黒と変わります。雑食で何でも食べ、木のほりか上手です。



アクセス情報



【電車でのアクセス】

《清水山公園》
静岡鉄道「音羽町駅」下車
きよみずさん通りを北西に
向い、徒歩2分(約150m)

《静岡県護国神社》
静岡鉄道「榑木駅」下車
山側を北東に向い、徒歩5分
(約300m)

緊急連絡先

- ・静岡県救急安心電話相談窓口 TEL: #7119
平日: 18時～翌8時、土曜日: 13時～翌8時、日曜日・祝日: 8時～翌8時)
- ・消防 119番
- ・警察 110番

注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作: NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
発行者: 静岡市環境局
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL: 054-221-1319 FAX: 054-221-1492
制作年: 令和7年2月

しょくぶつ



● シャガ



アヤメの仲間。山地の林のよわみや道ばたに生えています。4～5月に少し赤かった花を咲かせます。

● ツユクサ



7～9月に青色の花を咲かせます。早朝に咲いた花は昼間にしぼみます。人家付近の道ばたに多く育ちます。

● カタバミ



ハート型の3枚の花を咲かせます。春から秋まで黄色の花を咲かせます。実は熟すと弾けて種を飛ばします。

● ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に、赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い根は、冬の間にだけ見られます。全体に毒があります。

● イタドリ



隣当たりの良いところに生える植物で8～10月に白い花を咲かせます。若い茎は柔らかく、山菜として食べられます。

● トキワツユクサ



南アメリカ原産の植物で、隣当たりのあまり良くない道ばたや林の中に生えています。5～7月に白い花を咲かせます。

● ムラサキカタバミ



南アメリカ原産の植物で、庭や道ばたなどにたくさん生えています。3～8月、11～12月に赤紫色の花を咲かせます。

● ドクダミ



6～7月に白色の花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い根は、冬の間にだけ見られます。全体に毒があります。

● ノコギリク



山地の林のまわりでよく見られます。9～11月に淡い紫色の花を咲かせます。葉の裏面に白い毛があります。

● アジサイ



6～7月に赤紫から青紫色の花を咲かせ、咲いてから花の色は徐々に変わっていきます。毒があることも有名です。

● トネアザミ



低地から山地まで生えているアザミの仲間。9～11月に赤紫色の花を咲かせます。

● ハハコグサ



4～6月に黄色の花を咲かせます。道ばたなどに生育します。アザミとも呼ばれる春の七草の一つです。

● オオスズメバチ



日本最大のスズメバチで、日本のメバチでは最も強い毒を持っています。大きな木の根元や土の中などに巣を作ります。

● アオスジアゲハ



林のまわりにはいますが、市街地でも見られます。空高く飛びまわって、花を訪ねます。幼虫はクスノキを食べます。

● ヤマトシジミ



お春から初夏まで、平地や低い山地などでも見られます。幼虫はマタバタだけを食べます。

● アサギダラ



春には南から北へ、夏から秋には北から南へ、2世代に分けて移動します。ヒヨドリノキが特に好きです。

むし



● キアゲハ



開けた草原を好みますが、山地でも集まります。幼虫は他のアゲハチョウの仲間とは異なり、セリノ科の植物を食べます。

● ニワハシムシ



体長2cmくらい、グリンシムシの仲間です。オリーブや桜などに白い模様があります。成虫は4～10月に見られます。

● ミヤマアカネ



アカトンボの仲間。はねは、ある濃色の帯が特徴です。平地に多く生じます。6～11月に見られます。

● イチモンジセリ



成虫は緑色から秋にかけて、黄褐色になります。秋になると数が減り、幼虫はイネ科の植物を食べます。

● キマダラセセリ



草原や林のまわりなどにすみ、ヒメジョオンやオカトラノオなどの花を好みます。6月から9月にかけて、2回発生します。

● ホタルガ



はねの長さが3cmくらいで、昼間に活動する力の仲間です。成虫は6～7月と秋のはじめに見られます。

● ヒカゲチョウ



日本に生息するチョウです。年に2回発生し、5月から10月まで見られます。夕方に花を回り、訪ねる習性があります。

● ツチイナゴ



体長5～7cmの大型のイナゴです。成虫は秋に発生し、夕方に花を回り、訪ねる習性があります。

他にもたくさんの生きものがいるよ！
二次元コードからのも
いてみよう!!



メモ

しずおか みんなの
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。
ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)